

# 11月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	12,654	前年並み	12,419	90	78	74	46	0.4	千葉、神奈川産中心。千葉、神奈川とも一部の地域で台風18、19号により塩害、撒き直し等の被害を受けたが、11月出荷については影響なく、入荷順調の見込み。不足感もなく、価格は高値だった前年を下回る見込み。
はくさい	13,853	前年並み	13,162	75	67	55	7	0.1	茨城産中心で全体の約8割を占める。茨城産は生育良く、順調入荷。総入荷量は前年並みだが、不足感なく価格は前年、平年を下回る見込み。
キャベツ類	13,335	前年並み ～やや増	13,201	113	71	84	-	0.0	千葉、愛知、茨城産中心の入荷。千葉、愛知とも一部は台風18、19号の被害を受けるも、出荷への影響は年末以降であり、なんない出荷は問題ない。茨城は入荷潤沢の見込み。総出荷量は前年並み～やや増であるが、価格は高値だった前年を下回る見込み。
ほうれんそう	1,255	前年増	1,643	651	69	447	4	0.3	群馬、埼玉、茨城産中心の入荷となる。群馬の雨よけは大雪による施設倒壊で作付減少するも、露地物は増加。群馬、茨城、埼玉ともに台風の被害少なく、平年作と良好。入荷量は不作だった前年を上回り、価格は高騰した前年を下回るがほぼ前年並みの見込み。
ねぎ	6,274	前年並み	5,855	268	75	258	415	6.6	青森、秋田、新潟、山形産中心の入荷となる。東北産は終盤だが台風被害もなく生育順調。関東産も中下旬から順調入荷の見込み。入荷量は前年並みだが、8月後半からの基調安の流れはかわらず、前年・平年を下回る見込み。
きゅうり	4,551	前年減	4,717	462	87	380	-	0.0	埼玉、群馬、宮崎、千葉産中心の入荷となる。埼玉、群馬は大雪による施設倒壊で作付減少。関東産の出回り少なく、西南暖地産の出荷意欲は高いが不足分をカバーしきれない。総入荷量は前年を下回り、価格は高騰した前年より安い、平年は上回る見込み。
トマト	4,602	前年並み	5,083	480	90	429	-	0.0	熊本、愛知、千葉産中心の入荷となる。関東、西南暖地産ともに直接的な台風被害もなく生育はおおむね順調。九州産も生育の遅れを回復しつつあり、入荷量は順調の見込み。中旬以降西南暖地の増量が目立ってくる。総入荷量は前年並み、価格は前年安だが平年よりやや高い見込み。